



鈴鹿高専ロボコンプロジェクト 広報誌

第2号 2025年5月

著 星合 達郎

2025 高専ロボコンのルールが発表されました

競技フィールドが発表されました。

今年のルールは『Grate High Gate』という名前の競技です。

今年の競技は、ロボットがボックスを積み上げてゲートをつくり、そのゲートを人が乗った台車と一緒に通過します！

「すごい！」、「高い！」と観るものを驚かせる「ゲート」をつくってください！

そして何より、参加する高専生のみなさんが、たくさん楽しんでください！

詳しくは高専ロボコンのホームページからご覧になるか、地区大会までお待ちください。

部門紹介

鈴鹿高専ロボコンプロジェクト機械班には現在設計部門と加工部門があり、それぞれの班が連携してロボットの機体を作っています。ロボコンプロジェクトにおいて機械班とは、ロボコンの花形役者であり、どちらの部門も欠かせません。

これからこの2つの部門について説明していきます。

・設計部門

設計部門では授業でも使用される 3DCAD を用いて設計をし、部品図を作成します。3DCAD は2種類あり、場合に応じて使い分けています。筆者はこの部門の者です。

・加工部門

加工部門では部品図の通りに加工をします。

機械科の授業で使用されている汎用旋盤等の他にも CNC フライス盤やワイヤ放電加工機も使用することがあります。

上記のように設計部門も加工部門も名前通りの活動をしています。

現3年生の設計班インタビューをしました。

Q.ロボコンに入ったきっかけは？

—高専に入ったらロボコンだと思ったからです。

Q.設計部門に入ろうと思ったきっかけは？

—父が仕事で設計をしていて憧れて設計をしようと思ったからです。

Q.設計部門でのやりがいは？

—自分のアイデアが実現された時の達成感があります。

Q.2025 年高専ロボコン大会の目標は？

—地区・全国大会での優勝を目指しています。



寄付金について

株式会社アテック 様

鈴鹿スチール株式会社 様

千陶千賀株式会社 様

より寄付をしていただきました。ロボコン一同より感謝を申し上げます。

鈴鹿高専ロボコンプロジェクトはこれからも精いっぱい頑張りますので応援・ご支援のほど宜しくお願いします。